



## 初日に誓う「今年こそは」との想いと「共に歩いて」

校長 橋本 滋

新年 あけましておめでとうございます。

日頃よりご理解とご協力いただいております保護者をはじめ、青少年育成大東地区会の皆様、大東公民館、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。皆様の新たな一年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

今年の元日も自宅から3キロ余り東にある千葉県境にある江戸川の土手にジョギングをしながら向かいました。そして土手に上がり、寒風の中で待つことしばし、やがて地平線が紫色から赤く染まったかと思うその一瞬、力強く輝く初日が上がってきました。初日だからこそ、それがありがたく、神々しい気持ちになるのだと思います。「一年の初め」「今年こそはとの想い」が、自分の気持ちを特別なものとし、力が湧きあがるのだと思います。

さて、「今年こそはとの想い」に関係した内容で、昨年11月の講話朝会に「変えられることができるのは未来であり、性格は変えられる」というテーマで、子どもたちがよく知っていると思われる有名芸能人3人を取り上げ、話をしました。多くの芸能人は、辛い生い立ち、困難な境遇があります。引きこもりや不登校、虐待に近い扱い、いじめや誹謗中傷、そして孤立と孤独を余儀なくされた人もいました。(ホームページ校長講話11月参照)しかしある日あるきっかけで生活が一変します。内気で引込み思案だった人が今は、テレビカメラの前で楽しいトークや歌やダンスを演じることができているのです。「性格は変えられる」、「変えることができるのは未来」の確固たる事実として伝えました。今の自分は絶対ではありません。そして夢は無限です。「できる自分」を信じて将来に向かって進んでほしいと思います。将来に向かって新しい一歩を踏み出すことは、大変な決心、そして勇気がいるものです。「百尺竿頭に一歩進む」という言葉がありますが、正にそのような心境であると思います。そしてそんな時、その背中を押してくれるのは真に自分を心配してくれる家族であり、寄り添ってくれる友であり、自然界のエネルギーであるのだと思います。共に歩いてくれる誰かがいてくれることで勇気が生まれます。そのような意味で、私の心に浮かぶ歌があります。「友達だから」という歌です。次のような歌詞です。

### 「友達だから」(石井亨 作詞・作曲)

1 きみとぼくとは 友達だから  
歩いて行(ゆ)こう 歌を歌って  
うれしいときも 悲しいときも  
歩いて行こう 手を取り合って  
幸せはいつでも 向うから来るのさ  
白く続く道の はるか遠くから  
その日まで きみと歩いて行こう

2 きみとぼくとは 友達だから  
歩いて行こう 口笛吹いて  
楽しいときも 苦しいときも  
歩いて行こう どこどこまでも  
幸せはいつでも 向うから来るのさ  
白く続く道の はるか遠くから  
その日まで きみと歩いて行こう



この歌詞全部がストレートに自分の中に入ってきます。何かの時につい口ずさみます。私は常々、この歌詞の中にある「白く続く道」という言葉が気になっていました。そこで、版元の出版社に問い合わせたところその方が、作者の「石井 亨」氏にわざわざ連絡していただき、歌詞に込められた想いを聞いていただくことができました。それは、「誰もが友達なのだから、喜びや悲しみを共に喜び励ましあい歩いて行けば(生きて行けば)きっとその優しい心が、希望や夢にめぐり合わせてくれるでしょう。その希望や夢に続く道は、白く美しく輝いているのではないかと私は思います。」「他の人を思う心が希望や夢につながっていると思います。友達がいるからこそ今生きています。」「歩いて行こう」は「生きて行こう」という意味で書いたものです。こんなコメントをいただきました。

今後とも、保護者、地域の皆様と共に進む学校でありたいと思います。今年もよろしくお祈り申し上げます。

